

情報共有

(1枚非管理文書)

NISA班 ← フォルダ
毎度

各位

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(9/20 9時～ レク)

東京電力株式会社

以下、転送

=====
9/20(火)9時定例レク概要

【説明内容】

- ①福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
(9月20日 6:00現在)【口頭説明】
 - ・共用プールについては昨日冷却を再開し、温度低下傾向

- ②本日の作業予定等について【口頭説明】
 - 原子炉循環注水冷却の継続について
 - <各建屋等の水位>
 - 1～4号機T/B地下階の水位について
 - 1～3号機トレンチ立坑の水位について
 - 1～3号機R/B地下階の水位について
 - プロセス主建屋の水位について
 - 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
 - サイトバンカ建屋の水位について
 - <1号機>
 - 復水器からT/B地下階への滞留水移送について
 - 建屋カバー設置工事について
 - ・本日、台風の状況を見て実施可否を判断
 - <2号機>
 - 雑固体廃棄物減容処理建屋への滞留水移送について
 - <3号機>
 - プロセス主建屋への滞留水移送について
 - R/B上部のガレキ撤去工事について
 - <4号機>
 - R/B上部のガレキ撤去準備工事について
 - <6号機>
 - T/B地下階から仮設タンクへの滞留水移送について
 - <水処理関連>
 - キュリオンについて
 - ・本日、Hベッセル3基を交換予定
 - <その他>
 - スラッジ貯蔵施設設置工事について
 - リモートコントロール重機によるがれき撤去について
 - 港湾関連施設改修工事について
 - ・台風対策実施予定(作業は実施予定無し)
 - 大型タンク設置作業について

【主な質疑】
特になし

以上

情報共有

(1枚 非管理メモ)

各位

NISA 班 ← プス対応

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(9/20 11時30分～レク)

東京電力株式会社

以下、転送

=====
9/20(火) 11時30分臨時レク概要

【説明内容】

①福島第一原子力発電所 淡水化装置 (RO) の水漏れ状況 [資料配付]

②本日の作業状況等について [口頭説明]

<1号機>

- 建屋カバー設置工事について
 - ・本日、台風の影響により作業中止

<6号機>

- T/B地下階から仮設タンクへの滞留水移送について
 - ・10:00移送開始

<その他>

- 1F3u RPVベローシール温度変化について
- 免震重要等における水処理監視システム工事について
- 1F作業員の内部取り込みの疑いについて

【主な質疑】

- Q. 内部取り込みの疑いがある作業員の作業時間は?
A. 本日9:00頃に作業を開始し、9:40頃に事象が発生した。

- SQ. 作業箇所の線量は?
SA. 雰囲気線量を測定中。

- SQ. 具体的に、どういった状況で手がマスクに接触し、外れるに至ったのか?
SA. 詳細は確認中。

- Q. プラントパラメータについて、3uベローシール部の温度は現在も上昇傾向なのか?
A. 現在は温度低下傾向である。

- SQ. なぜ温度上昇が確認されたのか?
SA. 計器の不具合という可能性も含めて現在検討中であり、今後も状況を監視していく。

以上

情報共有

(1枚 非管理メモ)

各位

NISA班 ← プレス対応

東京電力株式会社

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(9/20 15時~ レク)

以下、転送

=====

9/20 (火) 15時定例レク概要

【説明内容】

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ(9月20日 午前10時現在) [資料配付]

②福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ(9月20日 12:00現在) [口頭説明]

③本日の作業状況等について [口頭説明]

- 共用プール最地下階における水たまり発見について
 - ・本日11時頃、作業員が、共用プール最地下階で結露水と思われる水たまりを数カ所で発見。
 - ・水たまりは、全部で約28m³程度。サンプルット内にて27m³、残りはサンプルット周辺など。
 - ・9/14~9/19、共用プールの冷却を停止していたことにより、湯気が発生していた。
 - ・湯気が凝縮したものがサンプルットに溜まって当該サンプルット水位を上昇させ、また、水位上昇により床面ファンネルに水が逆流してあふれ出た、という可能性が考えられる。
 - ・今後、水たまりのサンプリングを実施予定。

【主な質疑】
なし。

以上

各位

NISA班← アレス対応4-1

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(9/20 16時30分～ レク)

東京電力株式会社

以下、転送

=====

日時：9月20日(火) 16:30~17:30

場所：自治会館3階303会議室

発表者：原子力安全・保安院(福島地域原子力安全業務統括)

渡邊 誠 氏

原子力安全・保安院(政府原子力災害現地対策本部 住民支援班長)

佐藤 暁 氏

東京電力㈱ 小森 常務取締役、XXXXXXXXXX 原子力品質・安全部長、

XXXXXXXXXX 福島地域支援室長、

XXXXXXXXXX 福島原子力補償相談センター副室長

司会者：原子力安全・保安院(政府原子力災害現地対策本部 広報班長)

木野 正登 氏

- 保安院渡邊統括の挨拶に引き続き、小森常務から一連の事故に対してのお詫びを行い、1日も早く事故を収束し安心して生活してもらえるよう努力していく旨発言。
- その後、資料説明を実施し質疑応答。内容は以下の通り。

【質疑】

< XXXXXXXXXX >

- Q. 細野大臣が、年内に冷温停止を目指す旨の発言をしているが、ステップ2の終了時期について3~6ヶ月と幅を持たせている点については変更しないのか?
- A. 細野大臣のご発言については、冷温停止について年内での実現を目指すといった意味合いだと思う。それ以外の作業についても、全力を尽くして実施していく。

- SQ. 仮に3ヶ月とすると、達成は来月ということになるが、その可能性はあるのか?
- SA. ステップ2の達成目標の中で、原子炉周りの冷却については重要な位置を占める。全てのテーマの終了時期について明確に申し上げることは難しいが、一つ一つのテーマに対して、早期達成を目指していく。

- Q. 冷温停止=ステップ2終了ということではないのか?
- A. 厳密に申し上げれば、そうではないと思う。個々のテーマに対して目標があり、それぞれに対して全力を傾け、早期達成を目指していく。詳細は資料3をご覧ください。

- Q. 年内にステップ2を達成した際は、年内に避難区域等の見直しの検討を開始するということではないのか?
- A. 冷温停止に関しては、年内達成を目指して全力で取り組んでいく。また、その他の作業に関しても全力で行っていくが、(避難区域等の見直しを)年内に開始するという前提ではないと考えている。

< XXXXXXXXXX >

- Q. 年内に冷温停止を目指すという大臣のコメントに対して、小森常務のお考えをお聞かせ願いたい。
- A. 具体的な時期についてはお示しできかねるが、個々のテーマ毎に、しっかりと作業にあたっていく。また、放射性物質の飛散を抑制することはとても重要であり、そのためにも循環注水冷却の安定的な運用が大事になってくる。その他の項目に関しても出来る限り前倒しで達成できるように、全力で取り組んでいく。

- Q. 冷温停止については年内達成を目指し、その他の作業については3~6ヶ月の間の達成を目指すという理解でよいのか？
- A. 炉心の冷却は放射性物質の放出抑制につながると考えている。放出状況等の測定や評価は簡単ではないが、評価方法の工夫等によって精度を高め、放出量の抑制や評価等についても早期にお示しできるよう努力をしていく。

- Q. PCVガス管理システムとはどういったものか？
- A. 原子炉の温度がおおむね100℃を下回ると、蒸発は無くならないが沸騰は止まり、水蒸気等はPCVの中に閉じこめられる。酸素・水素濃度が上昇すると水素爆発の可能性が高まるため、爆発の防止対策として、継続して窒素を封入しているが、その封入量と同程度のガス量を抽出管理し、同時にPCV内の圧力を大気圧程度にする装置。今月中には準備・設計に入れるように努力している。

- Q. 本日午前中に、官房長官が避難準備区域等に関するコメントを出しているが、それに対する新しい見解は？
- A. 詳細は承知していないが、復旧計画等に関してのプロセスが進んでいるということかと思う。

- Q. 避難区域等の解除に向けたスケジュールはどの様になっているのか？
- A. 除染作業や生活環境の改善作業については随時進めていくが、避難区域の解除等については、ステップ2が終了した後の見直しになるかと思う。

- Q. 冷温停止の判断は号機毎に行うのか？
- A. 号機毎に判断することになるかと思う。

SQ. 1号機については、ある程度の期間100℃を下回っているが冷温停止ではないのか？

SA. 冷温停止の定義については、資料2のp8をご覧ください。放射性物質の放出管理や公衆被ばく線量の抑制等、中長期的な安全についても要求されるため、現状で達成できているとは言いかねる。

SQ. 放射性物質の放出評価ができなければ冷温停止の判断ができないということでは、号機毎の管理や評価についての見直しが必要になるのではないのか？

SA. 評価方法等については、困難な面もあるが、今後も様々な取り組みを実施し、精度を高めていきたいと考えている。

Q. 試験的に注水量を変化させるという項目があるが、3号機については終了しているという認識でよいのか？

A. 今まさに取り組んでいる最中であり、今後継続していくかどうかも含めて検討中である。2号機についても、3号機の注水量や全体の水量バランスとの兼ね合いがある。各号機の放射性物質の放出量評価については、R/B上部サンプリング等の取り組み等を行うと同時に、敷地全体としての放出量評価も実施していく。

Q. 敷地全体としての放出量管理と評価はどの様な状況か？

A. MPによる連続監視を継続している。また、サンプリング等については、検出限界値を下げるといった作業も実施している。また、海上や各建物の上部でのサンプリング等も実施し、号機毎と敷地全体としての放出量評価とを平行して実施していく。

Q. 1号機に関しては、建屋カバーが完成すれば、放射性物質の放出管理がなされている状況であるという認識でよいのか？

A. カバーが完成すれば、測定や評価についての精度が高められると思う。また、3, 4号機のR/B上部のがれき撤去等についても、作業が進むことによって、環境影響評価の精度が高められると考えている。

Q. 再確認だが、ステップ2の達成時期について、3ヶ月での達成は可能なのか？
見通しを示して欲しい。

A. それぞれの課題に対して、テーマ毎に目標を立て、3～6ヶ月で目標を達成できるように努力し、作業にあたっている。冷温停止については年内達成を目指し、その他の作業についても早期達成を目指しているが、具体的な完了時期については申し上げかねる。

SQ. 達成できるものとそうでないものがあるということか？

SA. 作業によって、困難さや進捗に濃淡やばらつきがある。例えばSFP冷却については現在安定して実施できているが、現状では達成できていないテーマもあり、一概には申し上げかねる。

以 上

各位 NISA 対応 プレス対応チーム

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(9/20 19時30分~ レク)

東京電力株式会社

以下、転送

=====
9/20 (火) 19時30分定例レク概要

【説明内容】

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (9月20日 午後3時現在)

②福島第一原子力発電所 サンプリング関係 [全て資料配付]

- ・福島第一原子力発電所敷地内における
空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第百七十九報)
- ・福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる
放射性物質の核種分析の結果について (9月19日採取分)
- ・福島第一原子力発電所タービン建屋付近の
サブドレンからの放射性物質の検出について (9月19日採取分)
- ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

③本日の作業結果、明日の作業予定等について [口頭説明]

○循環注水冷却について

<各建屋等の水位>

- 1~4号機T/B地下階の水位について
- 1~3号機トレンチ立坑の水位について
- 1~3号機R/B地下階の水位について
- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
- サイトバンカ建屋の水位について

<1号機>

- 建屋カバー設置工事について
- 復水機からT/Bの水移送について

<2号機>

- 雑固体廃棄物減容処理建屋への滞留水移送について

<3号機>

- プロセス主建屋への滞留水移送について
- R/B上部のガレキ撤去工事について

<4号機>

- R/B上部のガレキ撤去準備工事について

<6号機>

- 明日も仮設タンクへの滞留水移送予定

<水処理関連>

○キュリオンについて

- ・本日、ベッセル3基交換済み
- ・追加でAGHベッセル2基交換済み

○サリーについて

- ・2Bベッセルの誤設置を発見
- ・通常ベッセルを高性能ベッセルに誤った

○ROの水漏れについて

- ・分析結果

ヨウ素131	9.2E-01Bq/cm ³
セシウム134	9.4E+00Bq/cm ³
セシウム137	9.8E+00Bq/cm ³

○共用プール水溜りについて

- ・分析結果

ヨウ素131	検出限界値未満
セシウム134	4.7~7.0E+00Bq/cm ³
セシウム137	5.4~8.1E+00Bq/cm ³
コバルト60	1.2E+00Bq/cm ³

<その他>

- スラッジ貯蔵施設設置工事について
- リモートコントロール重機によるがれき撤去について
- 港湾関連施設改修工事について
- 大型タンク設置作業について

●以下は、レク時に配布せず“投げ込み”のみ実施

- ・福島第一原子力発電所の状況
- ・福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ（9月20日 午後3時現在）

【主な質疑】

- Q. RO水漏れ分析結果のオーダーは危険なのか。
A. 大きな支障や問題になるオーダーではない。

Q. サリーの誤設置の原因は。

- A. 記号の記載があるが、通常ベッセルは1E-96、高性能ベッセルは1E-911で、それを見間違えたものと思われる。

以 上